

参加者募集！
(50名)



鶴岡まるっと地域医療は
地域医療をキーワードに

- 赤ちゃんからおじいちゃんおばあちゃんまで「まるっと」
 - 健康、予防、医療、介護、障害分野で「まるっと」
 - まちづくりや人づくり「まるっと」
 - 市民、医療者、行政までみんなで「まるっと」
- 学び、考え、仲間がつながり地域医療の理解を広げる勉強会

第1回

学び・考え・仲間とアクションを起こそう

鶴岡まるっと地域医療

～鶴岡市地域医療市民勉強会～

令和4年12月8日（木） 18:30～20:00

※申込締切日 12月6日（火）

小児・周産期の医療資源をまるっと学ぼう

周産期とは
妊娠22週から出生後
7日未満までの期間

鶴岡市立荘内病院

小児科医

吉田 宏先生

産婦人科医

五十嵐 裕一先生

ミニ情報：「地域包括ケアシステム」を学ぼう
庄内保健所 所長 蘆野吉和先生

会場：鶴岡市総合保健福祉センター「にこ♥ふる」3階大会議室

住所 〒997-0033 山形県鶴岡市泉町5-30

お申込：いずれかの方法でお申込ください

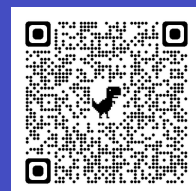
①QRコード⇒携帯電話でQRを読み込みフォームに入力し送信⇒

②URL⇒<https://forms.gle/nyDFqBnRQ14YLuuk7>

③電話⇒0235-35-1251（鶴岡市 地域包括ケア推進室）

主催：鶴岡市

受託者：株式会社瀬尾医療連携事務所





「鶴岡まるっと地域医療」ってなに？

令和元年～3年に実施した「鶴岡市地域医療を考える市民委員会」で、3つの市民アクションをまとめました。その市民アクションを実践するために市民が地域医療を知り一緒に考える場として「鶴岡市地域医療市民勉強会」を実施することになりました。鶴岡市地域医療市民勉強会の名称が「鶴岡まるっと地域医療」です。

鶴岡市の“地域医療の未来像”に向けた「3つの市民アクション」

地域医療の連携の仕組みを理解しよう

私たちが日ごろから利用している医療や福祉、介護予防やケアについて、その連携の仕組みを理解することで、安心して医療を受けることができます。

自分たちが受けたい医療を考えよう

病気になったことを想定し、病気の基礎知識やその後の暮らし方などを考えることで、自分に合った療養生活を選択できるようになります。

ともに考え、行動する仲間になろう

地域医療に関心を持つ人が集い、交流しながら、地域医療を守るために市民一人ひとりが出来ることを、ともに考え、行動する仲間になろう。

年4～5回の鶴岡市地域医療市民勉強会「鶴岡まるっと地域医療」を実施し、市民・医療者・行政と一緒に学び考える場を実践します。



どうして地域医療を学ばなくちゃいけないの？

鶴岡市では、すべての人が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを安心して続けることができる地域社会の実現に取り組んでいます。

健康で暮らし続けることは、私たちの基本的な願いであり、医療は私たちの生活に密接に関わっています。私たちが自分らしい暮らしを最期まで続けるためには、鶴岡市の医療資源を知ることや自分の健康状態に合わせて医療・介護と上手に付き合うことが大切です。健康なうちに地域の医療資源の情報（役割・強み）を得て、あなたや家族の“備え”にしましょう。

あなたが上手に医療機関を活用できるように

- 医療機関を選択する際の参考になるように
 - 医療機関の役割や特徴などを知ることができるように
 - 入院した時の「その後の療養」をイメージできるように
 - いざという時に慌てない・選択肢を準備できるように
- 鶴岡市の医療者や専門職から最新情報をお話しいたします。



令和4年度は4回開催予定

- がん医療の現状
 - 脳卒中医療の現状
 - 在宅医療の現状
 - 医療機関の検索サイト
- などを予定しています。

テーマには、難しい言葉が並んでしまうのですが、わかりやすさを大事に開催します。



どんな人に参加してほしいの？

- 将来医療や介護分野の職業を目指す10代
 - 子育て世代の20・30代
 - 働き盛りの40代
 - 介護する側になり得る50代
 - 地域で介護予防や生活を支える活動をされている60・70代
 - 鶴岡市の医療体制を知りたい医療・介護専門職
 - 地域の役に立ちたい方
- など、興味関心をもってくださる方ならどなたでも対象です。お友達を誘って、どしどしご参加ください。



問合せ先



地域と医療がつながる拠点

瀬尾医療連携事務所

株式会社瀬尾医療連携事務所

〒997-0034 鶴岡市本町1-7-45 まちづくりスタジオ鶴岡Dada 3階

メール：info@seojimusho.com

